

【単年度事業評価様式】

港北区地域子育て支援拠点事業
平成26年度重点目標評価結果・次年度重点目標

事業実施期間	平成26年4月1日～27年3月31日(10年度目/5か年度)
事業の実施者	NPO法人びーのびーの 港北区こども家庭支援課
事業目的	<p>市民が安心して子どもを生み育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成し、子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与することを目的とします。</p> <p>【事業・施設運営の基本理念】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 港北区における、地域による子育て支援の拠点施設としての運営 2 子どもの視点に立ち、すべての就学前児童及びその養育者、並びに子育てに関する支援活動を行う者に開かれた運営 3 子どもと家庭を支援する各種の行政等機関・地域等との連携を図る運営 4 利用者の意見、子育てをめぐる社会情勢、市民ニーズの変化に柔軟に対応できる運営 5 子ども及びその養育者の育ちを支援するとともに、養育者自身が事業の担い手として関与することができる視点に立った運営
事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 乳幼児の遊びと育ちの場及びその養育者の交流の場の提供(親子の居場所事業) 2 子育てに関する相談及び関係機関との連携に関すること(子育て相談事業) 3 子育てに関する情報の収集及び提供に関すること(情報収集・提供事業) 4 子育てに関する支援活動を行う者同士の連携に関すること(支援者ネットワーク事業) 5 子育てに関する支援活動を行う者の育成、支援に関すること(人材育成、活動支援事業) 6 地域の住民同士で子どもを預け、預かる支え合いの促進に関すること(横浜子育てサポートシステム区支部事務局運営事業)
事業の評価実施方法及び評価結果の公表方法	<ol style="list-style-type: none"> 1 今年度の取組状況や利用者アンケート結果等をもとに、協働契約書中の役割分担表の項目に沿って設定した、今年度の達成目標のうち、当該年度に特に重点的に取り組む達成目標である「重点目標」について、以下の通り、相互振り返りを踏まえた取組成果と課題を公表します。 2 今年度の取組状況や成果、課題を踏まえ、次年度の重点目標を公表します。

1 平成26年度重点目標の評価

平成26年度重点目標 1	子育てしやすい港北区に向け、子育て支援関係機関等との連携(ネットワーク)のさらなる強化を図り、区内の子育て家庭支援体制の底上げを図ります。
取組内容	<p>○支援機関連携のために平成25年度に構築した「港北区地域子育て支援拠点ネットワーク」(通称ぎゅっと(以下:ぎゅっと))において、港北区の在宅子育て家庭支援に向けた課題と具体的な解決策(取組み)を共有化していきます。</p> <p>○ぎゅっと主催で11月20日(木)の合同イベントを開催しました。</p> <p>○子育て支援家庭をともに支える基盤構築のため、拠点職員だけでなく、子育て支援に関わる立場の方々と共にスキルアップに努めるとともに、子育て家庭に向けたイベント等の企画・実施を行います。</p> <p>○拠点関係者をはじめ、区内において日々、親子の支援活動に尽力されている支援関係者が、自身の活動を客観的に見つめ直し、活力を得、新たな活動にフィードバックできるような機会を創出していきます。</p> <p>○これらの推進を通じて、支援機関や支援関係者等とのさらなる連携を進め、情報共有の機会を創出していき、子育てしやすい港北区に向けて活動をともに展開していきます。</p> <p>○子育て家庭が必要とする情報について、多くの情報の中から必要かつ有効な情報を取捨選択し、対象者の目に届きやすいよう提供していきます。</p> <p>○拠点が発信した情報を、子育て家庭が区内の他支援機関でも得られるよう、関係機関や関係者にも適宜情報提供していきます。</p>

取組の成果	平成25年度に引き続き、ぎゅっと(親)会議を年3回開催。代表者間での情報共有に努めました。また初の試みでもあった虐待防止月間の11月に合わせ、ぎゅっと主催での『小さな太陽』スライド&トークショーを開催。企画から運営までを実行委員会形式で実施しました。今後のひろば運営に繋がる人材育成を視野に行うことができました。 また、公私立保育所ネットワーク主催のイベントにおいても、共に地域子育て支援の情報発信ブースを担うことができ、実践者同士の顔つなぎの足掛かりができました。
取組の課題	保育所子育てひろばや幼稚園はまっこ事業も含め地域子育て支援としては7ヶ所ありますが、出生数や乳幼児人口が増加傾向にあり、子育て支援に関するニーズが高い港北区においては、区内にバランスのとれた配置が望まれています。地域子育て支援拠点と親と子のつどいの広場のみならずネットワークの輪を広げていく必要があります。

平成26年度 重点目標 2	子育て支援を裾野まで行き届かせるため、乳幼児(0歳から5歳まで)人口の増加に応じた子育てサポートシステム提供会員及び両方会員(※)の増加を目指します。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○区内乳幼児の人口増加を鑑み、子育てサポートシステム提供会員及び両方会員の登録数を増加させます。 ○入会説明会について、昨年度に引き続き、地域ケアプラザをはじめとする区内各方面の小中学校や地区と協力した事前広報を強化します。 ○入会説明会開催後から登録まで繋がったかどうかの参加者動向の検証を行います。 ○会員養成のプロセスや子育てサポートシステムの活動の拡大を通して区内における子育て支援に関わる裾野を広げ、拠点事業における人材育成機能のさらなる充実化を図ります。
取組の成果	<p>会員増加の対象である提供会員及び両方会員については、拠点どろっぷ内においては集団説明会、個別説明会あわせて、延べ35回実施しました。同時にネットワーク事業での実践をもとに、区内9箇所で開催11回の出張説明会を開催しました。</p> <p>主な説明会実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月25日 場所:菊名地区センター (参加全25人中、提供会員及び両方会員希望者22人参加) ・7月3日 場所:日吉地区センター (参加全17人中、提供会員及び両方会員希望者10人参加) ・9月18日 場所:篠原地区会館 (参加全22人中、提供会員及び両方会員希望者16人参加) <p style="text-align: right;">他6箇所 8回開催</p> <p>「予定者研修会」が市域調整で1回しか開催できなかったにも関わらず、他区からの参加者も含め、提供会員及び両方会員対象の参加者は総数87人になり、それ以前に研修会に参加している人も含めて港北区内在住の方の新規登録、年間の実績は77人に及びました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月14日～3日間 場所:港北区役所予防接種室にて開催 <p>今年度新規で登録した会員を含めた年度末の交流会においては39人が参加し、研修会含め港北区における今後の子育てサポートシステム(預かり)事業を通じた子育て支援の必要性を確認、共有して終え、子育て支援を担う着実な人材の裾野を増やすことに繋げることができました。</p>
取組の課題	子育て支援を裾野まで行き届かせるため、乳幼児(0歳から5歳まで)人口の増加に応じた子育てサポートシステム提供会員及び両方会員の増加をさらに推進していきます。

※両方会員・・・利用会員と提供会員、両方を兼ねる会員
提供会員・・・お子さんを預かる方の会員

2 次年度重点目標

平成27年度 重点目標 1	乳幼児人口の多い港北区の地域ニーズに応えるために、拠点サテライト(仮称)を1ヶ所設置します。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○港北区地域子育て支援拠点どろっぷのサテライト(仮称)を設置、運営していきます。 ○拠点サテライト機能の検証を行います。 ○拠点サテライトの開所にあたって、理解と支援を頂くと共に、地域との関係づくり、利用家庭への周知などに努めます。 ○どろっぷ本体との調整、他関係機関との連携づくりを行っていきます。
平成27年度 重点目標 2	子育て家庭に身近な場所での相談機能(利用者支援事業)の充実を図ります。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て家庭(利用者)への十分な周知と利用説明を行います。 ○利用者支援専任職員の研修と記録の整備をします。 ○拠点内のひろば担当、相談員との連携を図ります。 ○保育に関する相談については区庁内の保育担当窓口や保育コンシェルジュをご案内します。

3 協働プロセスの評価

①事業計画段階

		区	拠点	相互評価
1	自分たちが達成すべき大きな目的や理念についてよく話し合うことができましたか。	B	B	B
2	お互いの立場や組織の違いを話し合ってよく理解することができましたか。	B	B	B
3	会計のルール等、お互いの組織内部の取り決めについて、説明し合ってよく理解することができましたか。	C	C	C
4	子育て家庭や子育て支援に関わる市民のニーズを把握して共有するとともに、この事業の目標と実施方法を話し合って決めることができましたか。	B	B	B
5	目指す拠点の姿に近づくためにそれぞれが何をできるかを考え、話し合って役割分担を決めることができましたか。	B	C	C
6	事業を始めることや計画中であることを、ホームページや通信等を使って市民に発信することができましたか。	A	A	A

②事業実施段階

		区	拠点	相互評価
1	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	A	B	B
2	お互いの強みや得意分野を、どう生かし合えるかを考え、提案しながら取り組むことができましたか。	B	C	C
3	相手に任せっきりにせず、お互いが役割を自覚して積極的に取り組むことができましたか。	B	A	A
4	事業の進捗に応じて、目標、ニーズ、対象、実施方法などをふりかえり、修正しながら取り組むことができましたか。	B	B	B
5	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	A	A	A
6	事業終了後の見直しについて、話しながら取り組むことができましたか。	B	C	C
7	事業の進捗状況を、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	A	A	A

③事業の振り返り段階

		区	拠点	相互評価
1	協働することで、単独でおこなうのに比べてどのような効果が得られたか、話し合って共有できましたか。	B	B	B
2	子育て家庭や子育て支援に関わる市民が満足を得られたかどうかについて、アンケート調査や話し合いによって確認することができましたか。	B	B	B
3	これまでを振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができましたか。	A	A	A

取組経過について振り返り、協働に必要な取組が出来ていたかを評価します。

評価基準

A よくできた B できた C あまりできなかった D まったくできなかった